

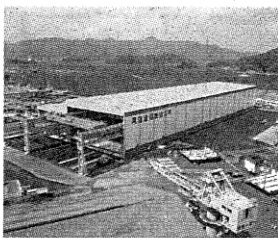
JFEシビル設計施工 尾道造船株式会社 佐伯工場 竣工

尾道造船株式会社及びジャパン・スチールズ株式会社の佐伯工場が、2017年3月に竣工しました。同工場は尾道造船株式会社のグループ会社で船の建造を委託している佐伯重工業株式会社の隣接地に位置します。延床面積約15,300平方メートル、高さ25メートル、大小12基のクレーンを保有する鉄骨造平屋建て（一部2階）の工場です。建屋は組立棟（写真右側）、内業棟、ショット工場棟の3棟からなり、組立棟は120トンのクレーン2基、60トンのクレーン1基を保有し、クレーンガータの梁せいは3.4メートルのビルトH形鋼でできています。鉄骨総重量3,150トンの工場で、JFEシビルが建設した中では最大級のクレーン付き工場です。

※組立棟・内業棟：尾道造船株式会社、ショット工場棟：ジャパン・スチールズ株式会社



2017年4月26日(水) 鉄鋼新聞(2)



尾道造船の新工場

JFEシビルが建設、竣工

組立棟など鉄骨重量3150ト

JFEシビル（社長 藤井善英氏）が大分県佐伯市で建設を進めていた尾道造船佐伯工場がこのほど竣工した。写真。尾道造船とジャパン・スチールズから受注したもので、受注額は明らかにしていない。鉄骨総重量は3150トで、同社が建設した中では最大級のクレーン付き工場となる。

竣工した工場は延床面積1万5300平方メートル、高さ25メートル、大小12基のクレーンを保有する鉄骨造平屋建て（一部2階）で建屋は組立棟、内業棟、ショット工場棟の3棟から構成される。

組立棟は120トンのクレーン2基、60トンのクレーン1基が設置され、クレーンガータの梁せいは3・4メートルのビルトH形鋼でできている。